

北見國網走町

殖產無盡株式會社

電話 一三八番
振替小樽九六三八番

網走町南通九丁目十八番地

北海道拓殖株式會社

網走出張所

網走町

網走商事株式會社

電話 三十一番

野付牛町大通東四丁目

酒問屋



齊藤醬油店

電話 二五五番
振替口座小樽九四四五番

北見國網走町



秋田木材株式會社

網走出張所

電話 二二二番
倉庫用 一一〇番

株式會社 北海道拓殖銀行



野付牛出張所

電話 二二三番
七五五番

野付牛町二條東五丁目

岸山商事合名會社

岸山増次郎

和洋酒
味噌醬油

中叶屋商行

北見劇場前
電話(呼出) 六九番

網走港

荒井組出張所

泉澤清松

電話 一五二番

常呂郡野付牛町

三井物產株式會社

木材部

野付牛木挽工場

北海道電燈株式會社

野付牛出張所

電話 二二〇八番
二二七番

函館殖產株式會社



野付牛出張所

伊藤縷香

網走町

札幌木材株式會社

網走工場

電話 六五番

辻組訓子府出張所

辻

豊

野付牛町

木材商 矢武伊太郎

電話 五十八番

名寄線宇津驛

矢武造材部

野付牛町大通東三丁目

吳服太物
小袖
毛織物



淺沼商店

電話 七十二番
電話(アサ)又ハ(ア)

新政社を組織すべく

我町民に檄す

我還境の革新を圖らんと

謹んで同志に所信を訴ふ

己れの還境をヨリ良く創出人物力兩つながら適任
造せんとする意味は、現在と認むる者の爲めに力戦奮
の不備を憎悪し昭々罪惡に闘し其當選を期することに
沈む大勢に逆行し、靡爛し
たる舊制度に改造の血祭を
敢行せんとする熱血なつ
て現はれる、是故古より
殉教者は敢然剣を振

殉教

經濟

いて立つた、或者は火に焼
かれ、或者は十字架に轢ら
れ、又或者は青山に白骨を
晒した、併し夫れ等の人の
足跡には悉く燎乱たる月花
が咲き乱れ其行蹟は百代の
後に顯著として現はれた、
人類は

將來

と云ふ氣分を倣いてならな
い以上社會の理想化を期す
べく我等は現在の醜惡なる
ものに排戦することが其使
命なりと覺悟して勇奮せず
ばなるまい、本誌は微力な
がら創刊以來此氣分の下に
健闘したが志の前途は尙
遼遠であるから茲に

遼遠

自ら發揮し同志と共に糾合
し先聲の指導を仰いで一大
政社を結び或は國事を談じ
又道政を研究し或は自治体
の刷新を圖らんとするので
ある、而して来る可き
選舉に於ては我政社

初春情緒

もよく同志の理想に叶ひ、
に屬すると否とを問はず最
るところの知人朋友「御目

出度好い御正月ですな今日
は「といふにこやかな顔は
その場合として何を意味す
るものか、ゲに今日の輝や
かしい初春の朝の情懷では
ないか。そんなにも苦し
かつた大晦日の後でそして
元日の朝の麗しい太陽の輝
やいてゐる空の下で我等の
生活にまで復活して来る一
つの湧然たる力、この喜び
にあふれた情緒、この晴々
した朝の気分、正に我等の
言はふとしてゐるのはすべ
てそういつた情懷の表白に
外ならないのだ

元日の朝に於て幸福を欲し
ないどんな人間がそこにあ
るか、ゲに幸福はだれにと
しても差別なく願はしいの
である。だがしかしそれが
實際に幸福であり得るか。

我等は走りそして幸福の幻
影を捕へるだらう。しかも
その時、あゝいかに幸福は
指の間を通り抜けしことよ
我等は永遠に幸福の幻影を
追ひかけてゐる。我等の旅
路にはどこまでも終焉がな
い、欲求は更に欲求を生ん
で満されなない。結局我等の
生涯はこの愚かな旅の路上
に於て懊惱と焦燥との内に
悲愴な野たれ死をするばか
らうであらう

扇もつ若い娘ら春の屏風の
前に立つて、君のしなやか
な体を振れ、艶めかしい曲
源は足にからむ、扇もつ若
い娘ら、君の笑顔になさけ
をふくめよ、君らの春も正
に來らんとす。

賀 正

吉川與四松

佐藤林助

阿木武兵衛

黒部旅館

曙旅館

電話五十三番
野付牛大通西二丁目

羽前屋

野付牛大通西二丁目

網走海陸運輸株式會社

賀 洋服調進 土井三郎

正 質屋業 土井玄太

野付牛町

謹賀新年

佐久間亮吉

電話二六四番

迎春と共に

我町政に對する希望

我町をヨリ良く創造せんと

當路者に呈する苦言の一端

新年上旬に我町政の刷新が、及び新算の編成に就て希望の一端を述べ以て大方諸君の御參考に供したいのである。

町有財産の收入を擧げ

輕減すべし
我町には町有財産を有して八百萬町歩の土地を有して居るが、此地目の大部分は堤防敷地若しくは牧場となつて居るが事實に於ては相當有用な働きをなして居る處もある、然るに貸地料としての收入は僅かに一ヶ年五百圓内外を算するに過ぎないといふに至つては實に言語に絶する次第である。是を若し有用に利用したならば必ずや偉大なる財源となつて町民の負擔を輕減し我町の福祉を増進すること助役の職に在つて町長となつた我氏並に町會議員諸公の英斷を以て敢行されんとを切望する点である。

擴張して

我が町民の致富に資せ

次に我町の擴張に資する事業は、我町の産業政策に一段の光輝を發揚させてほしい、現在の我が町民は如何にすれば金儲けが出来るかと云ふ點に就て統計及學術上の資料に乏しく又商店にしても如何なる物品が需用多き、如何なる物品が仕入夥多なるかを知らず、相場に敏捷に正確に知る處の機關が無い爲め廉品の仕入に就ても、或は新しい生産品を仕入れるに付いて不便がある、多くの商人も永くの間取引に便するの爲め、大變動の遅れ、修練と學術の研究と宗教的の信念の涵養なども必要であ

排水を行ひ

土木豫算を計上した上
此英斷を以て得たる財源を以て、排水の方々に於て土木費を計上してほしいと思ふ、そして今迄のやうに出す人のある場合は大勢に遅れて

非常な損をして居る、此の損失を補ふには必ずや勸業課を擴張し統計及經濟事情を調査すると共に其上に立ち、町の民衆の相談相手となる、町の技師を置く必要がある、街の掃除するならば町民大に富んで更に大なる事業を町に營せんとするも十分なる負擔力を涵養することか出来ると思ふ。

青年學堂

建設を圖れ
其次に青年指導の機關であると思ふが是町民の自覺

新空氣注入

我町政に
選舉には新人を選め
今年には選舉が頻る多忙であると思ふが是町民の自覺



汚物及衛生

豫算を増せ

鐵道官舎の繼兒扱禁制
豫算編成上に於ける今一つの希望は汚物運搬費を増し、市民の不平を一掃する、と共に鐵道官舎も亦同じく市民なる以上等しく運搬を敏捷にし其方面の不平を開かぬやうにしてほしい、開く處に依れば從來鐵道官舎は鐵道側に單獨に運搬し居たが省令によつて官舎の塵芥は鐵道省で負擔すべきものでないといふ理由の

鼠の譜

向ふ破りの猪よりもコソクする鼠に危險性多し
何んでも引いて盜賊するから鼠賊と云ふ、お正月勿々御用心あれ
根室銀行の白鼠、新年勿々裁判となる。ヤラレテからは、島田では時既に遅し。何んでも豫防が肝甚

夜嵐のあさ

一粒万倍、ねづみ算で殖えてほしいものは家のあきなり。子歳の辛棒で金よりも殖えさうなのは日本の子寶
國民は政黨政治に飽いて猫も杓子も中立となるを其主張する處は黒白を曖昧にして孰れも鼠色也。わけても今年には干支と共に一層甚だし
鼠は忍術の毛駄物也。之を學んで悪用した人間を鼠小僧治郎吉と申す。

道廳拓殖課ともあらう者が

謹賀新年

各學校卒業証書の御注文の時季になりました

農民損して

拓殖係貯金

諸看板。金額様。製造

恭賀新年

野付牛町

土屋商店
電話四十六番

中川商店
電話一七五番

安達久米藏
野付牛字川泊

小乃金紙店
電話百七番

北海印刷株式會社
電話一〇五番

網走區裁判所構内
網走町北通二丁目

謹賀新年 各學校卒業証書の御注文の時季になりました

御早く御用命を願ひます 北海印刷株式會社 電話一〇五番

道廳拓殖課ともあらう者が

端野村民を欺く

土地を拂下げてやるやうな句を囁せ

治水着工の用地を村民から絞り取り

嘘八百で農民を釣る怪しさ

拂下の際、端野の事情と云ふ事であつたから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

代表委員を選んだから

農民損して 拓殖係貯金

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

騙す狐は 何處に居る

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

八木澤與一

小間物 化粧品 紙類

能登みさを

一條通東六丁目

書籍 雜誌

大正堂

野付牛驛前

諸看板。金額様。製造

三書堂看板店

野付牛町一條通西二丁目

飲食店

酒井家

大通東五丁目

御料理席

松の家

野付牛町浮世小路 電話二六八番

途上一篇

はる 男生

北國の晩秋としては珍らしいの態度をするのだらう。
程温い日である
庭園とは名ばかりの、それ
は未開地のような荒み果て
た、雑木の生ひ茂つた庭で
ある
この大小の樹々のことごと
くが色付た葉を音もなく散
り敷てゆく
古びたばらつく建の窓を明
け放たばたに小林はあぐ
らをかいて煙草の煙をつ
つと吐た
原始のまゝに手入れもなさ
そうなの庭に音もなく重
りゆく病葉のその音を聞く
かのように小林はちいつと
耳をすまして居る
はてしもなく遠くさうなこ
の寂莫を破つて百舌鳥はけた
たましい叫びをあげた
「あつたつた」ように小林は
樹の梢にやつたげと百舌鳥
の姿は見へなかつた
秋だなあとおふやいた
其の時庭の中に黒い小さい
な塊が音を立てて落ちた灰
にまぶれた塊は蜘蛛であ
つた
灰のなかの蜘蛛は身じろぎ
もしない
小林は思た、危害を加へる
者の有無をうかつて居る
のだなと
何も僕は前に危害を加
へようとは考てもみない
それなのになぜそんな疑惑
かうして誤問化し終るの
だと言ふのか。それで
前は安全だと言ふの氣なの
か。
小林は指の間にささんでほ
とんど燃えつき相な巻煙草
の灰を落してクモの足にち
よつと押しあてた。クモは
こんな管ではなかつたので
も言へたげにうろたいて灰
のなかに逃げまどつた。
二度三度かうしたことをく
りかいて居るともうクモ
は動かなくなつた
小林は今度は火ばさみを取
りあけてとうとう焼き殺し
てしまつた
かうした虐殺の行爲に對し
て起さうな良心のせめは
小林にはちつとも感ぜられ
なかつた
それよりも自己の尊い感情
をむさふとふみにじつた
醜い塊に心ゆく復讐をし
た快さがこみあげてきた
かうして小林ははてしなき探
究の底に沈んで行くのであつ
た。
何處を通て来たのか、何
の時頃からかうして居るの
かさつぱりわからなかつた
小林はしひてそれを探究し
ようとしなかつた。たゞ
自分自身それがわからな
いのだということが遠慮のよ
うに頭にひつかかつて居た
これは己の部屋だなど小林
は氣づいた。けれども部屋
の格好もすぐ眠につく卓に
も何等の親もなかつた。
卓の上の硝子の花瓶に一
匹の蛇がからまつて鎌首を
もかけた。そうしてそのつ
ぶらな赤い眼で小林をじつ
と見入つた
その蛇は頭の扁平な三角
形に似て居た
それが毒蛇であるうと何
であらうと己の愛には何の
わりもないのだと考へて居
た。現在の小林はこの蛇を
愛して居るのであつた
花瓶にからまつた蛇はその
小さいな長い舌を陽炎のよ
うに動かした
その瞬間だつた。卓の上
にS状をして居た蛇の尾部
がこまかに揺ぐれた
小林は驚て見つめた
それは黒髪に變て行く
卓も消へて蛇も居なくな
つた、そうしてその黒髪だ
けが残て居る
それは女の寝た枕の上に
散つて居る黒髪であつた。
小林はレントゲンのことを
ふと考へた
さうすると壁で隔てた向の
部屋がはつきりと見えてく
る。
純白な床、純白な壁、純白
な塊は紅味をねびて
来た。純白な紅味の塊はだ
んだんと男女の一塊に見え
てくる。女の白い足が男の
淫味の筋肉にからまつて居
る。小林の愛する蛇である
ものであるとつゞき考へ
させられた
どうしたのだと小林は考へ
はじめた。わかり相になる
と考へることをやめた、小
林はその考への究極に到達
するのが恐ろしいのだ
ちやうど夢遊病者のよう
な足どり、小林は部屋を出
た。と云ふより追れて行く
者のように逃れて行くので
ある、さうして兩手を舉
げて何かを拂ひのけるよう
である。今見た事を、到達し
ようとした考へを拂ひ除け
ようとして居るのかも知れ
ない
落ちかかつた壁板の間から
飼はれて居るであろう兎が
ちよつと顔を出した。さう
してふらふらとさうだ迷つ
て来る小林をちよつと見
あげた。何のか、わりもなさ
相に酒みかけ青草をかすか
に音をたて、むさぼり食つ
て居る
小林は青草を貰いて相さし
る兎の前歯の音にきき耳を
たてた。兎は小林のものを
さうな
各自に創造された生命で
ある人間であり兎でありな
がら何で兎は俺のものかし
らん
小林自身はかう考へて居る
にしても小林の周囲も兎自
身も「俺のものであること」
に何の不知も起して居な
いのである
それはそれでいいとして、
小林のものであるにしても
決して小林の一部分ではな
い、であらうことには兎は
青草をむさぼり食つて居る
のに迷て居る小林は前と同
じにふらふらしてそこに何
のか、わりもない
小林は思ひわづらうことが
いやになつた
思索の究極にブツカル事が
恐ろしいのだ
亦ふらふらと迷つて行く。

起さんとするには新人の活、未だの無くなつた時に引渡、賣論も消費者から唱へられて工學士にした父の淑さんと親密に「羽衣」とか、船乗る。

一山亭
野付牛町
電話七六番

洋食河西軒
野付牛町三條西三
電話一三二番

料理店いぐ代
網走町中通六丁目
電話一三六番

和洋御料理日鮮亭
浮世小路
金淳烈

私共は此度御當地へ参りました何卒御引立を願ます
仙柳「あい子」秋月
はな子「明月」よし子

大自 然 之 更 始

(號 別 特 年 新)



本紙發行分
(月二回)及臨時增
刊臨時
▲定價一ヶ月
六ヶ月前金二十錢
一ヶ月前金二十錢
(送料郵費別)
▲廣告料
一頁一週二十錢
特別廣告五割増
發行編輯 越前直波
兼印刷 越前直波
北見新聞社
六條西二丁目
發行所 北見評論社

抽軸一轉、茲に大正十三年を迎ひ、萬物悉く新なり。一年の計は一月にありとは謂へ、何人も此大正十三年に受く可き運命と遭遇すべき事實とは豫断することを得ざる可し。是實に本年は過去の軌跡の歳に比して最も新なる所以にして大自 然の更始一絶の絶對深遠なるを覺ゆる点なり。

廟堂聲あり、天下の民心を作興し、更始一絶の實を擧ぐべしと、而も其聲高くして其實之に伴はざるは理想を現實化するの至難なる人類當然の徑路として多くの遺憾を貽しつゝある也。

是單り山本内閣に於てのみ然るに非ずして、凡百の人事、一新を期して得ざるもの左右比々、克く大自 然の更始一新に及ぶものなきは敢て贅言を要せざる處也。

今や大自 然は一陽來復、燦爛たる光を大地に投げ、甲子大正十三年の隙行く駒は、勇ましく行進の序曲を奏せり、人は天倫の樂事を叙して歡樂に酔ふは人情の當然なりと雖、單に一陽來復の新春を喜びて、天地の更始の歩調を偕にする能はずんば、日新の大勢に遅れて健なる天行の聖教に倣ふことを得ざる可し。

世は改造の切なるを叫び、人に新たなる覺悟を要せしつゝあるに反し、其實の之に伴はざるは常に識者の以て遺憾とせる處也。

也。今天に新たなる光あり、地に鮮かなる大氣漲れど、人間社會のみは依然として舊慣を墨守し、屠鮮に酔ひ、雜煮に鼓腹し其思想上に於ても古き革囊に新らしき酒を盛らんとする沈滞を繰返さんとする時、明けの鐘を我と汝の胸底に撞き、春光を我等の頭上に輝かして舊弊を打破し、政局を一新して民心を復興し、局面を展開して新文化の建設に向つて猛進し、以て大自 然の更始の一歩を偕にし、天下の和樂を恣にせんかな。記して迎春の辭に代ふ

北見振興の一策!!

防寒博覽會を開け

衣食住の三方面から經濟的研究
儲けんとするものは此説を開け

本社主幹 越前直波首唱

日本の文明は、北へ北へと進んで北海道や樺太の進進は歳と共に新たなうとし居る、わけても大震災後帝都數十萬の失職者を收容する處は北樺の地であるとの識者に叫ばれ又現に行政當局の方針ともなつて居る併し暖地の人で北海道や樺太に移住することは其酷烈なる寒氣に耐へ難いやうに思つてゐるので、今日尙其面積の廣さに比して人煙の稀薄である、隨て遺利の開拓も思はしくないので遺憾だ。

此現局に處して我等は北海道及樺太の繁榮策、並に振興の方法として色々考へるか、種々なる立案の内の一策として防寒博覽會を開く北見に於て開催するの有利なることを思ふものである。

今迄北見は薪炭が豊富であつた爲め防寒設備に就ては至極粗末であつた、隨つて燃料の功率を向上する點に向つては殆ど顧みられなかつた、一年の半以上暖爐やスチームを据付けて置きたがら、之に費す費用の莫大なることを精算したもの稀であるのみならず、如何にして之を節約し、而して暖かくするかと云ふ事の本社主幹 越前直波首唱

研究を閉却して居る併し全國的に缺乏して來た薪炭は北見の山林から採られ、野付牛運輸事務所管内各驛から他地方に運ばれ薪炭の數量は加速度的の勢を以て劇増して居る爲め、經濟に國境なく、北見の薪炭に運ばれ又暴騰して來た茲に於て如何にして少量の燃料に依つて暖かく生くることを得るや、自分此研究をなし、兼ねて之を普及し、自他俱に相利して北方發展に資する處がなくてはならぬ、是れ「防寒博覽會」の必要な所以である。

防寒博覽會開催の方法及企業目論見書は別に之を詳説する事として、茲に其大體を言ふならば、野付牛の高臺邊に一大會場を設け、各出品者は衣食住の三方面から研究的な陳列をする事から始め、其時期は歲末から年始かけ、賣出しを兼ねて開催する。

會場の設備は防寒装置と露西亞のベーチカ、朝鮮のオンドルなどを利用する、それに兼ねて電氣裝置を進呈すると共に北方發展に補益せんとする人の奮起を希望する(無斷禁開催)

食物の分析表を掲げ、身體の暖まる飲食店を設ける(但必ずしも烟酒のみとはせず)そして(食)の防寒を示すの外、衣服の方では外套から洋服、腰巻に至るまで、比較的便宜な防寒具を集めて出品者に賣出しを行はせる。

會長には長官を戴き、審査員には第七師團長や醫師、團、學士會の知識階級を網羅し部門を分けに部長を置くこと一般博覽會と同一である、そして斯く申す主唱者の自分をも必ず事務の一員に加へてほしく、多くの新聞記者を委員として囑託すること道博のやうにする

一般出品だけで深遠な研究的のものが無い虞れがあるから、別に參考出品として露西亞、エスキモーなどから目星しい物を蒐集して陳列することだ。

經費は大規模、小規模、伸縮自在である、極めて小規模なれば丸井商店のやうな處なら冬の太賣出しに一步計劃を進めると出来るし、大規模としても防寒具の製造元と共同して實行することが出来るから其財源に困らない方法が幾らもある、眞に實行しやうと云ふなら我社は企業目論見書を呈呈してもよろしい。一と

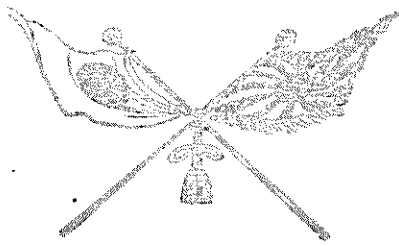
恭 賀 新 年

- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|------|-------|------|-------|------|------|------|
| 網走支應 | 網走支應 | 網走支應 | 網走支應 | 網走支應 | 網走支應 | 網走支應 | 網走支應 | 網走支應 | 網走支應 |
| 林田政次 | 吉田正二 | 進藤正直 | 長谷川一 | 大島六七男 | 梶次郎 | 遠藤孫之丞 | 野坂良吉 | 貴田國平 | 西村又吉 |
| 池津良太郎 | 中牟田雄三 | | | | | | | | |

御注文の時節になりました 御早く御用命を願ひます 北海印刷株式會社 電話 百〇三番

新年

恭賀



エックス光線科
に限り診断及治療は木、土に施術
外科
専門
花柳病科
入院隨意
院長 小町 定吉

小町病院

入院隨意
野付牛町二條通西一丁目
梅澤病院
(電話一四四番)
院長 梅澤長太郎

耳鼻咽喉科
花柳病科
永井病院
院長 東北 永井平三郎
醫學士
入院隨意
電話二二五番

一條通東二丁目
野付牛病院
電話七〇番

院長醫學士
清水公

入院隨意

野付牛町三條西四丁目
産科専門
吉田病院
電話百二十番

院長醫學士
藥劑士
吉田角次
吉田半四郎

病室。産室。入院隨意附屬産婆養成所

遞信局
囑託
野田齒科醫院
院長 野田 信次
電話一七八番

二條通一丁目

一條通西一丁目
北村齒科醫院
院長 北村 定雄
電話六二番

三條通西一丁目

田中齒科醫院
院長 齒科醫學士 田中傳三郎

小池齒科醫院
小池 武
網走町

北見國綱走町
小西齒科醫院
小西 保
電話三二一番

各學校卒業證書の

帶廣町西二條九丁目

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840.

恭賀新年

護士 栗田 電話

[illegible]

護七
藤浪源
電話

井上隆
岡本著

矢武伊

木方敬

子府山崎亭

7

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some minor discoloration and small dark spots, possibly due to age or handling. The left edge of the page is bound, showing the stitching and the inner cover material. There is no text or other markings on the page.

筆氏清是橋高裁總會友政

世間の義理を飲せけんぎり
沙汰横着の申譯さたわうやく

故に人にして穩健えんけんな長ながいものに絡からま
 穩健えんけんとは太ふといも
 士の人々の唯一の
 を生活の改善と云
 幕し、何んでも自
 人々
 と

護七
藤浪源
電話

井上隆
岡本著

矢武伊

木方敬

子府山崎亭

7

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some minor discoloration and small dark spots, possibly due to age or handling. The left edge of the page is bound, showing the stitching and the inner cover material. There is no text or other markings on the page.